

令和3年度 第2回横浜市神奈川スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年8月17日（火）13時30分～16時15分
開催場所	横浜市松見集会所 2階会議室
出席者	備前委員長、加藤委員、亀山委員、宮嶋委員、柳澤委員（計5名）
欠席者	なし
開催形態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者の選定審議については非公開とする。（傍聴者3名）
議 題	1 面接審査 2 指定候補者選定審議
審議結果	<p>1 面接審査（2団体）</p> <p>(1)公益財団法人横浜市スポーツ協会</p> <p>(2)CSY共同事業体</p> <p>面接審査は、団体名を伏せた状態（ブラインド化）で実施した。</p> <p>2 指定候補者選定審議</p> <p>委員の評点（平均点）は下記のとおりとなった。また、いずれの団体も指定候補者または次点候補者となるための、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の6割以上）を満たすことを確認した。</p> <p>両団体の評点を踏まえた審議の結果、横浜市神奈川スポーツセンター第4期指定管理者の候補者及び次点候補者を選定した。</p> <p>(1) CSY共同事業体 評点 95.60点（合計点数 478点）</p> <p>指定候補者として選定</p> <p>(2) 公益財団法人横浜市スポーツ協会 評点 94.20点（合計点数 471点）</p> <p>次点候補者として選定</p>
委員意見等	<p>1 指定候補者選定審議</p> <p>各委員から、応募書類及びヒアリングに基づき、審査・講評を行った。</p> <p>2 応募団体ごとの主な意見</p> <p>(1) 公益財団法人横浜市スポーツ協会</p> <p>専門のスポーツ団体として地域との連携が強く、外部団体との連携による様々なイベント企画していることや、経理体制についても問題ない。医療機関との連携を打ち出した提案については魅力的であり、安心感や安定感を感じた。半面、プログラムの提案に抽象的な部分が見受けられた。安定感のあるオーソドックスな運営手法は、評価できる反面、「子どものスポーツ離れ」等への対応は難しいように感じた。</p> <p>(2) CSY共同事業体</p> <p>プログラムの提案が魅力的である。地元プロスポーツクラブと連携した取り組みや、東京大学での近年のスポーツ科学における研究成果の活用など、最先端の要素が提案されており、新規利用者の呼び込みに期待ができる。三ツ沢球技場等を含め、地域全体の活性化を視野に入れた提案は、公共スポーツ施設として新たな試みとして評価できる。</p> <p>プログラムの実施や設備更新に伴う収支バランスの確保に加え、各分野で強みをもつ3団体の特徴を施設運営に活かして頂きたい。</p>